ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL072D

モデル CL102D

もくじ

このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能 ＼ モデル	CL072D	CL102D
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	バッテリ BL7010 (容量 1.0Ah)	バッテリ BL1013 (容量 1.3Ah)
電圧	直流 7.2V	直流 10.8V
連続使用時間	HIGH（強）：約 8 分 LOW（標準）：約 16 分	HIGH（強）：約 13 分 LOW（標準）：約 21 分
集じん容量	0.5L（ダストバッグ） 0.33L（紙パック）	
本機寸法	長さ 461mm ×幅 113mm ×高さ 146mm (ストレートパイプ及びノズル 取り付け時の長さ 984mm)	長さ 461mm ×幅 113mm ×高さ 150mm (ストレートパイプ及びノズル 取り付け時の長さ 984mm)
質量	0.98kg (バッテリ BL7010 付、ノズル、 ストレートパイプなし)	1.0kg (バッテリ BL1013 付、ノズル、 ストレートパイプなし)

充電器	DC07SA	DC10WA
入力電圧	単相交流 100V	
入力周波数	50-60Hz	
入力容量	45VA	
出力電圧	直流 7.2V	直流 7.2-10.8V
出力電流	直流 2.4A	直流 2.4-1.6A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

- 灯油、ガソリン、たばこの吸いがらなどを吸わせない。

・ 火災の原因になります。

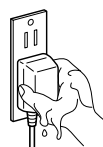
- 水洗いや風呂場での使用は絶対しない。

・ 感電する場合があります。

- 絶対に分解したり修理・改造しない。

・ 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- お手入れ・点検の際は、充電器をコンセントから抜く。また、雨中で充電したり、濡れた手で抜き差ししない。

・ 感電やけがをすることがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。

・ 電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。
・ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 交流 100V で充電する。

・ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

⚠警告

- **電池は発熱、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしない。**

  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水に濡らさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 温度が 10 ℃未満、あるいは温度が 40 ℃以上では充電しないでください。
  - 換気のよい場所で充電してください。
  - 電池や充電器を充電中に布などで覆わないでください。
  - 火中に投入しないでください。
  - 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
  - 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。

- **バッテリの液が目に入ったら、すぐにきれいな水で洗った後、医師の治療を受ける。**

  - 失明の恐れがあります。

- **以下のものは吸わせないでください。**
- **セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じんや、コンクリート粉などの微粉じん。**
- **引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質（ニトログリセリンなど)、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)**
- **金属の切断作業及び研削作業中に発生する研削火花や金属粉など。**
- **木片、金属、石及び釘、ガラス、カミソリ、押しピンなどの鋭利な物。**

  - 火災やけがや故障の原因となります。

- **本機の吸込口や排出口には手を入れないようにしてください。**

  - けがの原因になります。

- **水・湿ったごみ等は吸い込まないでください。**

  - モータの故障の原因となります。

⚠警告

・ 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

・ 充電器のバッテリ（電池）装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

・ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

・ 作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、バッテリ（電池）は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

・ 無理な姿勢で作業をしないでください。

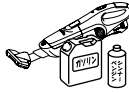
・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

・ 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。
・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。
・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠注意

・ **引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。**

・ 爆発や火災の原因になります。

・ **火気に近づけない。**

・ 本体の変形によるショート、発火の原因になります。

・ **排気口をふさがない。**

・ 火災の原因になります。

・ **吸引口をふさいで長時間運転しない。**

・ 過熱による本体の変形、発火の原因になります。

・ **充電器のコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**

・ 感電、ショート、発火の原因になります。

・ **温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、火気や暖房器のそば）に保管しない。**

・ 本体の変形による、ショート、発火の原因になります。

・ **充電しないときは、充電器をコンセントから抜く。**

・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

・ **充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。**

・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

・ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**

・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
・ コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

・ **付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。**

・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

・ **高所で使用する時は、本体を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルや延長管を持たないで必ず本体のハンドルを持って運ぶ。**

・ 本体などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

⚠注意

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをしてください。

・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

・ 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

・ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

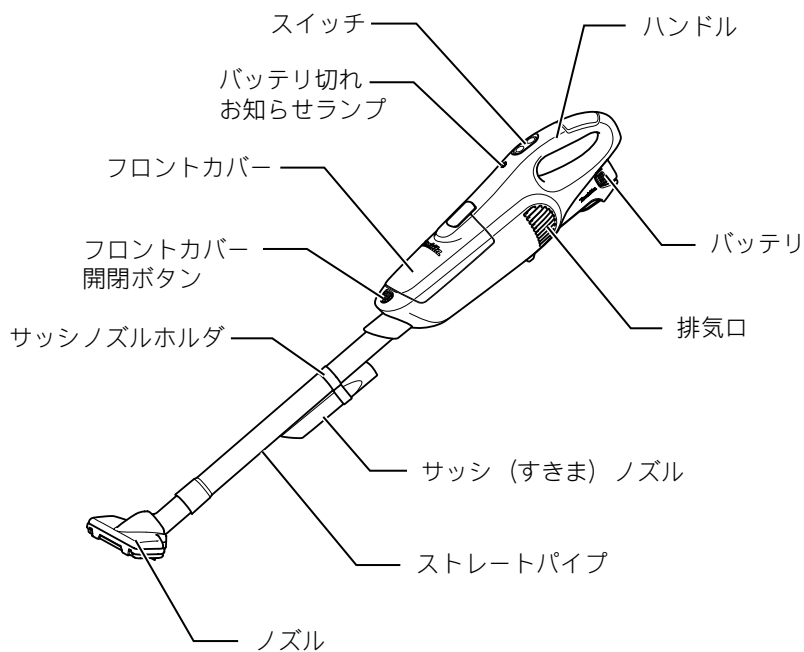
・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
・ バッテリ（電池）を、周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリ（電池）劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

注

・ 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
$1.25mm^2$	20m
$2.0mm^2$	30m

各部の名称および標準付属品

各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせ及び標準付属品

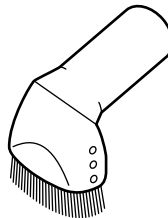
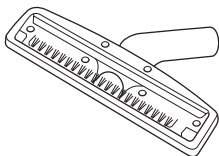
標準付属品 ＼ モデル	CL072DZ	CL072DS
バッテリ （容量）	×	○ バッテリ BL7010 （1.0Ah）
充電器 （充電時間）	×	○ DC07SA （約 30 分）
ノズル	○	○
ストレートパイプ	○	○
サッシノズル	○	○
サッシノズルホルダ	○	○
ダストバッグ（本機取り付け）	○	○
紙パック（10 枚）	○	○

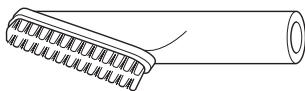
標準付属品 ＼ モデル	CL102DZ	CL102DW
バッテリ （容量）	×	○ バッテリ BL1013 （1.3Ah）
充電器 （充電時間）	×	○ DC10WA （約 50 分）
ノズル	○	○
ストレートパイプ	○	○
サッシノズル	○	○
サッシノズルホルダ	○	○
ダストバッグ（本機取り付け）	○	○
紙パック（10 枚）	○	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ フレキシブルホース
部品番号：A-37568

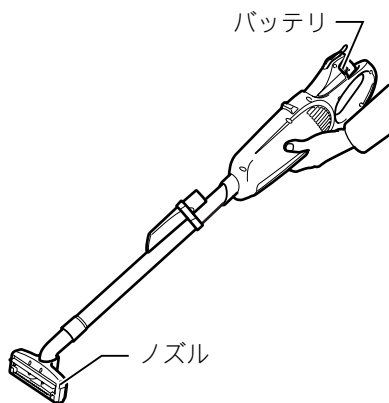
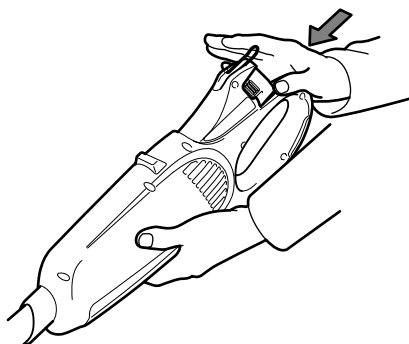
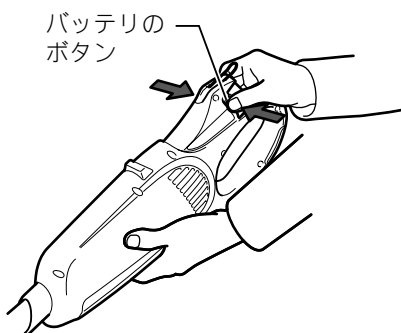
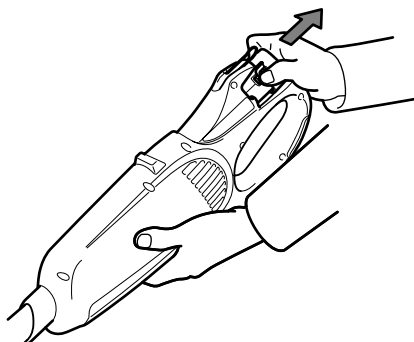
・ ラウンドブラシ
部品番号：A-37471

・ じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546

・ 紙パック（10 枚入）
部品番号：A-48511

・ 棚ブラシ
部品番号：A-37552

・ バッテリ BL7010（容量 1.0Ah）
部品番号：A-47494

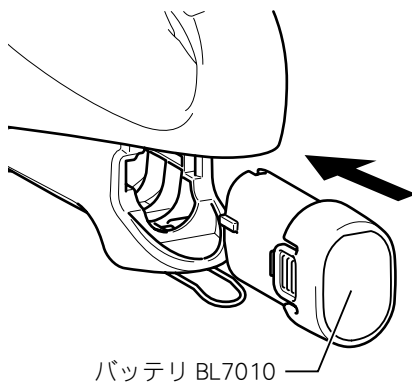
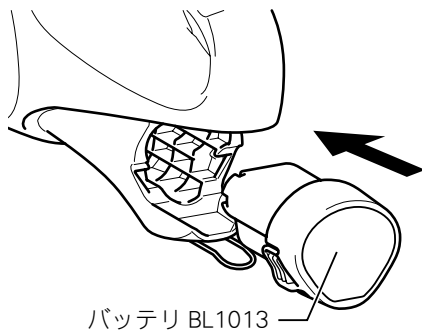
・ バッテリ BL1013（容量 1.3Ah）
部品番号：A-48692

バッテリの取り付け・取りはずし方

取りはずし方

1. 図のように本機を裏返し、バッテリ部を上に向けます。このときノズルを床に着け、もう片方の手で下からしっかり支えます。

2. 図の部分に手のひらを密着させます。

3. 手のひらを密着させたまま、バッテリのボタンを親指と人指し指でつかみます。

4. 手のひらを支えにして矢印の方向に引き抜きます。

取り付け方

・ 本機に対してバッテリを図のような向きにして、奥まで確実に挿入します。

バッテリ保護機能

バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますがこれはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。

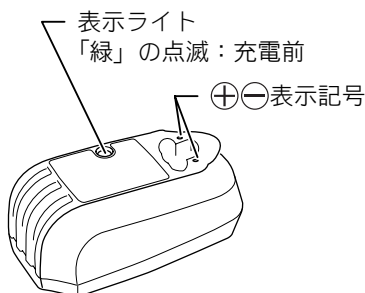
・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
  このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。再度スイッチを操作すれば再びご使用になれます。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本機よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

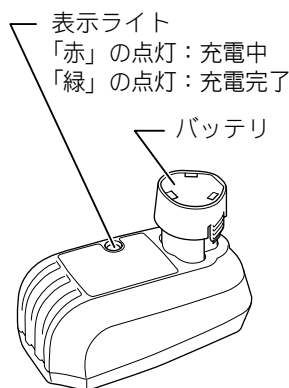
バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。(スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

使い方

バッテリの充電方法

・ 充電器の電源プラグを100V の電源コンセントに差し込んでください。表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
・ バッテリを充電器に挿入してください。挿入は⊕⊖を合わせて充電器の挿入ガイドにそって充電器の底にあたるまで入れてください。

・ バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し充電を開始します。
・ 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わります。
・ バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

注

・ 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときはバッテリの温度が下がると充電を開始します。充電前にバッテリを冷やすことをおすすめします。
・ 充電開始後、表示ライトが「赤」、「緑」の交互点滅を繰り返した場合や、バッテリを挿入しても「緑」点滅になる場合はバッテリの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所にお持ちください。
×充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
×充電開始後、充電表示ライトが「赤」に点灯した後、90 分以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

バッテリを長持ちさせるには

・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行なってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、冷やしてから充電してください。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

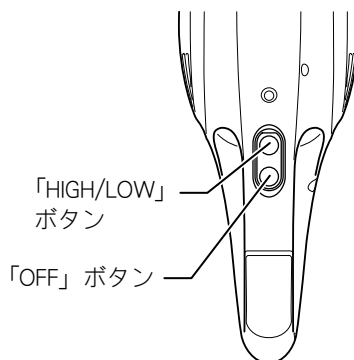
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

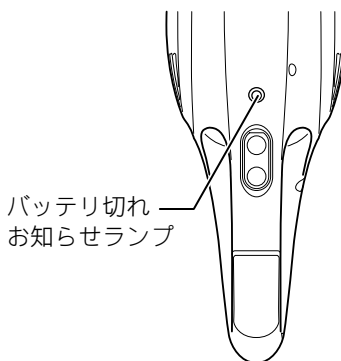
・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
　× お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
　× 温度や湿度の急変する所
　× 湿気の多い所
　× 直射日光の当たる所
　× 揮発性物質の置いてある所

使い方

スイッチの操作

・「HIGH/LOW」ボタンを押すと、本機がHIGH（強）モードから作動します。再度「HIGH/LOW」ボタンを押すと、LOW（標準）モードで作動します。もう一度押すと、HIGH（強）モードで作動します。停止させるには「OFF」ボタンを押してください。

バッテリ切れお知らせランプ

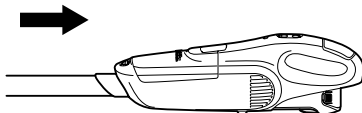
・使用中にバッテリの容量が少なくなるとバッテリ切れお知らせランプが点滅します。
・さらに、バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止し、バッテリ切れお知らせランプが約10秒点灯します。このときはバッテリを充電器で充電してください。

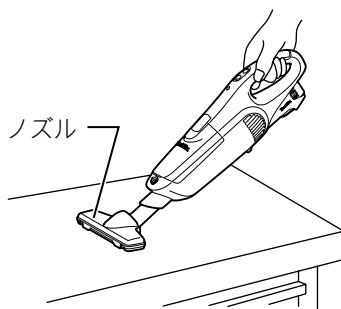
注

・**バッテリ切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。**

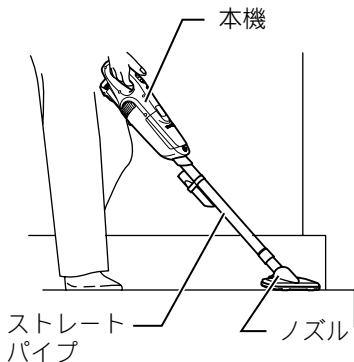
使い方

標準付属品の使い方

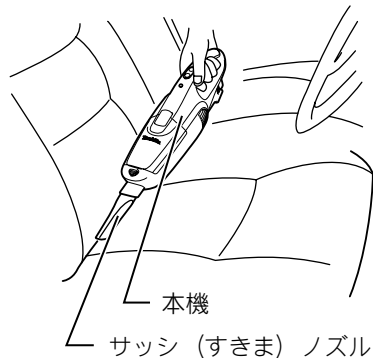
⚠注意

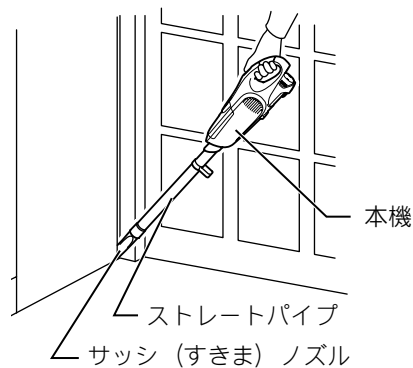
ノズル等の標準付属品は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。

ノズル

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。

ノズル＋ストレートパイプ

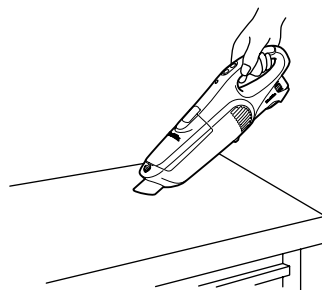
・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本機とノズルの間にストレートパイプを差し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

使い方

サッシ（すきま）ノズル

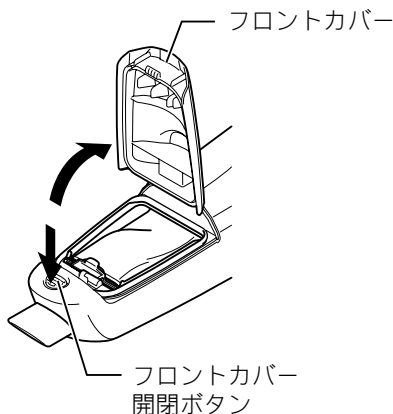
・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。

サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ

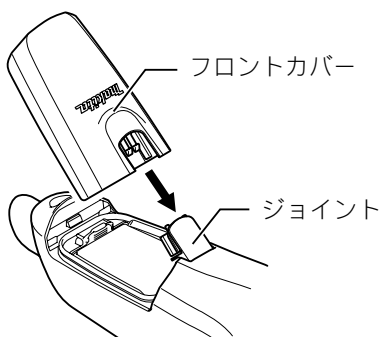
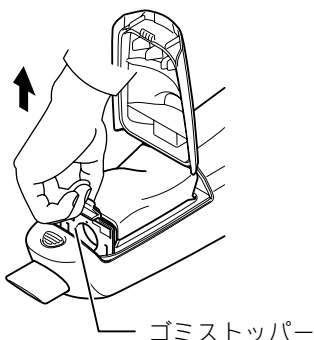
・ 家具の奥など本機があたって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルと本機の間にストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。

ちょっとした掃除に

・ こぼした粉などの吸い込みは直接本機で出来ます。

注

・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。

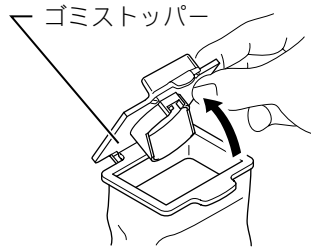
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押し、フロントカバーを開けます。
“カチッ”と音がするまで開けるとその状態で固定できます。

注

- **フロントカバーを開ける際、力をかけて90°以上開けようとすると、破損防止のため本機からフロントカバーがはずれる構造になっています。はずれた場合は図のようにジョイントにフロントカバーを差し込んでください。**
- **フロントカバーを閉めるときには指をはさまないように注意してください。**

2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜きます。

3. ゴミストッパーを取りはずしてから
   ゴミを捨てます。

注

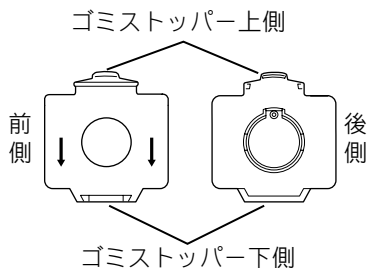
- ゴミストッパーを誤って捨てないでください。

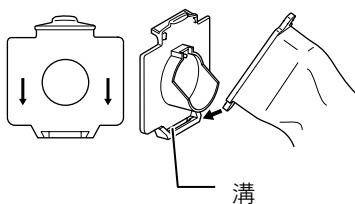
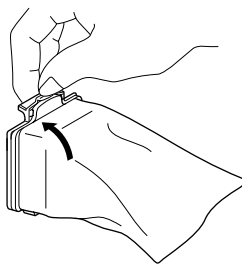
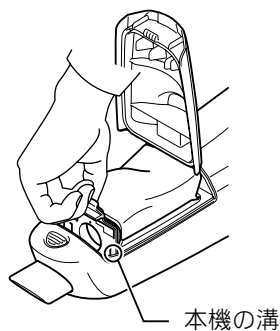
注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本機ケース内のゴミは必ず捨ててください。本機内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください。

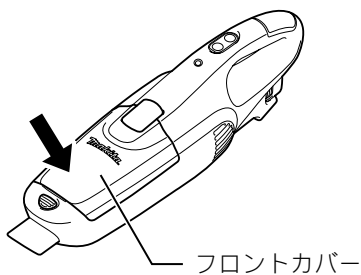
ダストバッグと紙パックについて

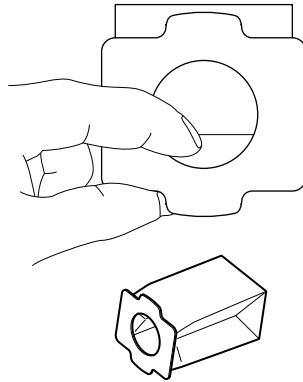
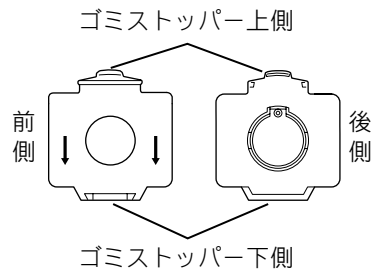
- ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けます。
- ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
- ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。(26 ページ参照)
- 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

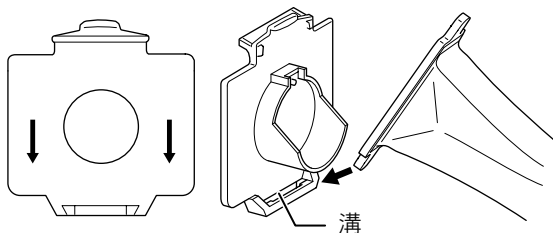
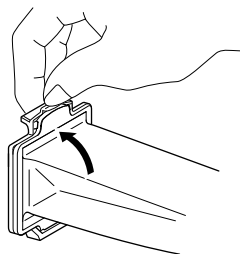
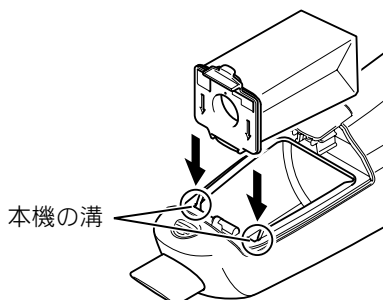
ダストバッグの取り付け方

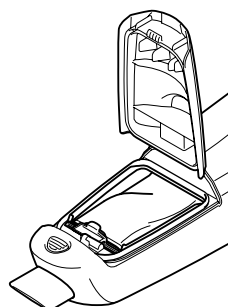
- ダストバッグの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を差し込みます。

2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。

3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。

4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。

5. ダストバッグの布側を本機ケースに入れます。

6. フロントカバーをしっかり閉めます。

紙パックの取り付け方

1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。

・ 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を差し込みます。

3. 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に差し込んでください。

4. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。

5. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本機の溝に奥までしっかり差し込みます。

6. 紙パックの袋側を本機ケースに入れます。
・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

7. フロントカバーをしっかり閉めます。

注

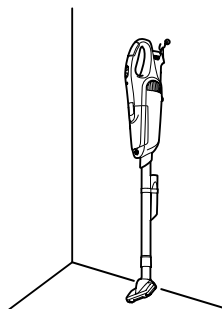
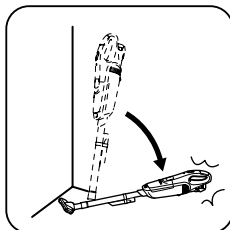
- ダストバッグ、紙パックのどちらかを取り付けてご使用ください。
- ダストバッグや紙パックを入れ忘れたり、奥までしっかり差し込まれていなかったり、破れたダストバッグや紙パックを使いますとモーター故障の原因になります。
- クリーナの紙パックは、本体性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータが発煙、発火するおそれがあります。
- 紙パック取り付け時は、口元の厚紙を曲げないように取り付けてください。
- **ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。**

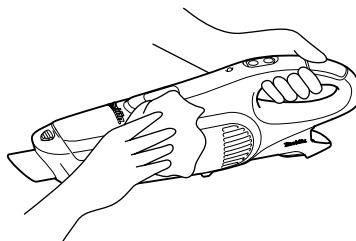
保守・点検について

ハンガーについて

・ 充電するときや保管するときは、本機裏側のハンガーをおこし、市販の吊り金具などに引っ掛けておくと便利です。

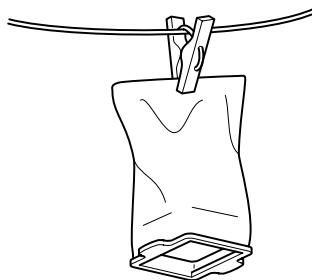
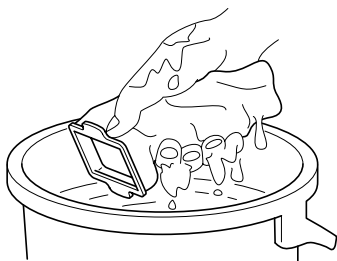
注

・ **何も固定せず立て掛けると転倒して故障する恐れがあります。**

お手入れは

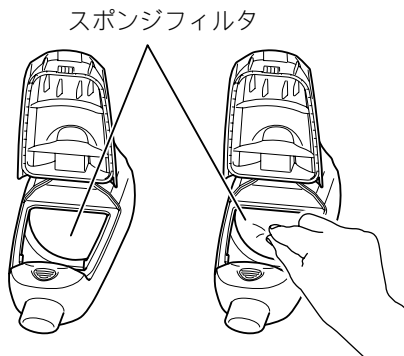
・ 本機の汚れは、布に石けん水を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸い込み口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。

注

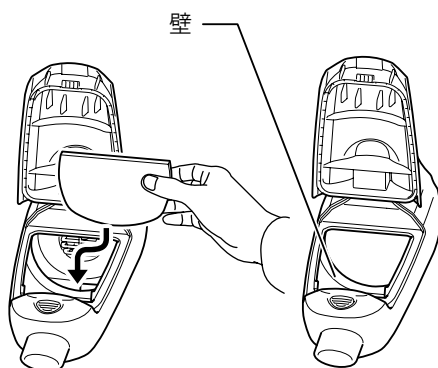
・ **ガソリン、ベンジン、シンナー等は、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。

※紙パックは使い捨てです。

・ スポンジフィルタの汚れは、本機からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

スポンジフィルタの取りはずし方

・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。

スポンジフィルタの取り付け方

・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。

注

・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本機にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。モータ故障の原因になります。

修理について

修理を依頼される前に

症状	調べるところ	直しかた
吸込力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。 ・ダストバッグが目詰まりしていませんか。 ・紙パックが目詰まりしていませんか。 ・バッテリが消耗していませんか。	・ゴミを捨ててください。 ・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。 ・紙パックを交換してください。 ・充電してください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。

注

- **上表にしたがってお調べいただいても直らないときはバッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。**

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げ販売店または当社営業所にお申し付けください。
- 修理を依頼される場合は、**クリーナ本機の他に充電器も一緒に**お持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは、販売店または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。